

『陽気』 創刊60年 記念行事及び特別企画

『陽気』は昭和二十四年五月の創刊号から数えて、明年平成二十一年で創刊六十年を迎えます。読者各位の日頃のご愛読にこたえ、あわせて文書布教の一環として、左記要項にて記念行事と特別企画を推進いたします。読者各位のいっそうのご愛読とご参加をお願い申し上げます。

期間 平成二十一年一月号より十二月号まで（五月号は記念号）

企画行事 創刊六十年記念講演会（平成二十一年四月二十五日）
道柳のつどい（選者を囲んでの懇親会・平成二十一年秋開催予定）

本誌新企画

著名人による天理紀行（随時掲載） 創刊六十年記念懸賞小説募集

連載随想『天理今昔物語』（天理大学名誉教授・近江昌司氏）

連載漫画『ひのき家の人々』（金巻とよし氏）

再録・六十年間の『陽気』から（先人のおたすけ話、著名人の記事）

出版企画

新刊本 読者が作る『お道の人のちよっといい話』（仮題）

復刊本 『道の八十年』（松村吉太郎著）

『たすかる名人』（仮題） | 柏木庫治おたすけ話・対談

読者各位

養徳社社長

今村俊三

原稿募集 読者が作る本

あなただけの“とおきの話”をお寄せください

ふと思いつくたびに心に小さな灯がともるような話。信仰にまつわる話から日常の何気ない出来事まで、題材は自由です。温かい、小さな灯を読む人の心にも映してほしいのです。

応募資格 ようぼく

応募規定 字数は800字以上1500字以内、ほか。採用作品は平成21年、『陽気』創刊60年の年に単行本として刊行の予定。締切り 平成20年12月31日
※詳細は、「陽気」9月号の73Pをご覧ください。

「陽気」の仲間を探してください！

「陽気」は来年、創刊60年を迎えます！天理教の信仰を胸に、同じ「陽気」の名で売れている、地域のみなさんに親しまれている、そんな「お店」や「会社」を知りませんか？“そう言えば”と思われるみなさま、ご一報ください。
電話0743 (62) 4503 FAX0743 (63) 8077
どうぞ、よろしく願います。（ハガキも可）

「陽気」読者講演会

家族が一番の抗がん剤

5年前、胃がんで胃を全摘した氏が、信仰を通して得た生きる勇気を語る。

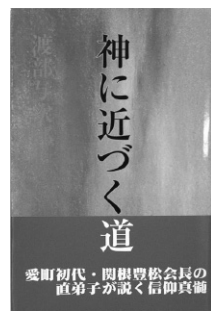
たか もく よし ひこ
高空禎彦（ようぼく・俳優 元チェッカーズ）

10月25日（土）午後2時より
陽気ホール（おやさとやかた 南右第二棟四階）

●養徳社の本●

愛町初代・関根豊松会長の
直弟子が説く信仰真髄
神に近づく道

渡部与次郎著
（定価11945円・税込）



「悪口を言う人があつたら、その後ろ姿を拝むのや。その人がこちらのいんねんを取ってくれる恩人やで」——
（本文より）

具体的なおたすけ話を元に、お供えの意味、家族や夫婦のあり方、子どもの教育など、人生や信仰生活の要点が、ズバリと記されています。思わずうなずいてしまう「一話二ページの信仰エッセイ集」。
※おちばの各書店か、直接当社へご注文ください。まとめてご購入いただくとお得です。ご連絡を。
（0743・62・4503）

養徳社 よもやま話

○週末の会社帰りに、またもやSさんと、馬刺しが美味い安い串屋で呑んでご機嫌で帰宅した。翌日、右の首筋が腫れて高熱が出た。たまりかねて医者に診てもらおうと「リンパ腺炎」との診断。わが妻曰く、「馬刺しが当たったんとかやう？」とニンマリ。

そんなことあるかい！

○夏の初め、鈴虫の赤ちゃんを20匹ほど頂いた。エサはキュウリとナスビ。しかし、毎日見ていると、なぜか一匹減り、二匹減り……夏が終わるころにはオストメス合わせて七匹。共食いしていたのだ。それでもたくましく生き残った七人の侍たちは、日ごとに大きく育っていった。夜、外で秋の虫が鳴き始めたころ、ふと虫カゴを見ると一匹だけに！その一匹は、鳴かないメスだった。

広告を載せませんか

ようぼくの企業や会社の広告を『陽気』誌へ載せてみませんか？掲載料金は、広告の大きさによって異なります。料金は、記事中で一回二万円から。

詳しくは養徳社広告係まで
0743・62・4503

この「陽気だより」を各支部例会などの折、広く養徳社からのお知らせとしてご利用いただけますよう、お願い申し上げます。

養徳社